

こ へん に ち は

し も す わ
町 議 会

♡♡♡ ここに注目 ♡♡♡

で す



健康ステーション・健康フィールド供用開始……5P
令和3年度一般会計・特別会計予算……6～7P



春の日差しを受けた水月園の桜（撮影：福王寺 嵩平）

一目でわかる議決結果 (3月定例会)

議案名 (一部省略)	
同意	人権擁護委員候補者の推薦
同意	副町長の選任
同意	固定資産評価員の選任
承認	【専決処分】 令和2年度一般会計補正予算 (第10号)
可決	温泉事業審議会条例の制定 →詳しくは4ページ①へ
可決	機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例 →詳しくは4ページ②へ
可決	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 →詳しくは4ページ③へ
可決	都市公園条例の一部改正 →詳しくは4ページ④へ
可決	健康運動施設条例の制定 →詳しくは5ページ①へ
可決	令和2年度一般会計補正予算 (第11号) →詳しくは4ページ⑤、5ページ②～⑤へ
可決	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)
可決	令和2年度駐車場事業特別会計補正予算 (第2号)
可決	令和2年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算 (第3号) →詳しくは5ページ⑤へ
可決	令和3年度一般会計予算
可決	令和3年度国民健康保険特別会計予算
可決	令和3年度駐車場事業特別会計予算
可決	令和3年度後期高齢者医療特別会計予算
可決	令和3年度交通災害共済事業特別会計予算 →詳しくは6ページ、7ページへ
可決	令和3年度温泉事業特別会計予算
可決	令和3年度特別養護老人ホーム事業特別会計予算
可決	令和3年度東山田財産区会計予算
可決	令和3年度水道事業会計予算
可決	令和3年度下水道事業会計予算
可決	令和2年度一般会計補正予算 (第12号)
可決	令和2年度下水道事業会計補正予算 (第1号)
可決	令和3年度一般会計補正予算 (第1号)
可決	令和3年度下水道事業会計補正予算 (第1号)
可決	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算 (第1号) } →詳しくは4ページ⑥へ
可決	【委員会提出議案】 下諏訪町議会委員会条例の一部改正
意見書	
可決	新型コロナウイルス感染症に関わるワクチンの高齢者施設等、在宅系サービス介護従事者への優先接種を求める意見書 →詳しくは3ページへ

意見書の審査結果

意見書案第1号

生活文教常任委員会提案

新型コロナウイルス感染症に関わるワクチンの高齢者施設等、在宅系サービス介護従事者への優先接種を求める意見書

全会一致で可決 国・県へ

新型コロナウイルスワクチン接種が、優先順位に従って始まっています。ワクチンの供給量に限りがある中で、高齢者への接種に次いで、高齢者施設の従事者についても行われることになりましたが、在宅系サービス介護従事者の接種には条件

が付けられています。

在宅系サービス介護従事者が、安心して介護に関われるよう、ワクチンの条件付き優先接種ではなく、優先接種を求める内容です。全会一致で可決しました。

議会傍聴をしてみませんか

町議会では、町民生活に密着した町の施策・予算や、請願・陳情などを審査するほか、町政全般に対し質問する「一般質問」も行っています。本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。ぜひ、傍聴にお出かけください。

また、ホームページでも一般質問の動画（録画）を見ていただくことも可能です。



一般質問を傍聴された方の声

(令和3年3月議会・傍聴者36人)

- ・限られた時間の中で現状説明はできるだけ避け、政策論争をして欲しい。
- ・議員全員が質問し活発だった。
- ・会派により問題の捉え方が違うと思うが、摺り合わせすることで内容が濃くなると思う。

定例議会一般質問傍聴者数(延人数)

定例議会名	傍聴者数	
	令和元年	令和2年
3月定例議会	58	20
6月定例議会	58	28
9月定例議会	41	26
12月定例議会	20	16
合計	177	90

「傍聴した方の感想を載せたら如何か」という提案を受けましたので、さっそく今号に掲載致しました。如何でしょうか？
これからも皆様の声をお聞かせください。



30号の議会だよりに対する議会だよりモニターさんのアンケートでは、専門用語や新語のカタカナ表記のわかりづらさへの指摘や、審議内容の報告の中で基金や給付の内容をもっと詳しく知りたいとの声をいただきました。
「わかりやすく」伝えることの大切さを再認識しています。

議会だよりモニターの目
改善努力を
続けます！



国の補正に機敏に対応

新たな町へのきざし



① 温泉事業審議会を設置

温泉事業の推進と円滑な管理運営に関する事項について、調査審議を行うための下諏訪町温泉事業審議会を新たに設置します。温泉事業の一般会計からの借入れ返済完了が見通せる状況になったことから、将来構想を協議します。

② 機構改革 健康福祉課から保健福祉課へ

健康運動施設等の維持管理を実施する係を教育こども課に新設して、現在の健康福祉課から事務の一部を移管すること、健康福祉課の名称を保健福祉課へ変更すること、及び消防課が所管する水防に関する業務を建設水道課に移管する、3件です。

③ 会計年度任用職員の期末手当変更

会計年度任用職員の期末手当の割合を常勤職員と同じ割合に改めるため条例を一部改正します。

④ 下諏訪町都市公園条例 車中泊一泊3千円

赤砂崎公園において、新規に開設する有料公園施設（車中泊場）及びその使用料3000円について、規定に追加等を行う一部改正です。

⑤ 令和2年度補正予算 (第11号) 西大路交差点7月完成

一般会計予算で、歳入歳出それぞれ6645万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ109億2669万5000円とします。

★令和3年度に繰り越される繰越明許費では、6事業について限度額の設定をしています。

- ・子育て応援商品券発行事業
- ・プレミアム付商品券事業
- ・新型コロナウイルス感染症特別対応型持続化支援事業
- ・町道東山田東町線改良事業

- ・町道社6号線等改良工事
- ・街なみ環境整備事業



工事が進む西大路交差点

⑥ 令和2年度補正予算 (第12号) 令和3年度補正予算 (第1号)

国の令和2年度第3次補正の成立に伴い、各補助事業の内示を得たことから、事業費を補正予算に計上して、工期等の関係から、全額を3年度への繰越明許費とします。

- ☆2年度一般会計予算 7587万円を増額
- ☆2年度下水道事業会計予算 6653万円を増額
- ☆3年度一般会計予算 9459万円を増額
- ☆3年度下水道事業会計予算 6100万円を減額

健康ステーションで楽しもう

健康フィールドで遊ぼう



生活文教常任委員会

① 健康運動施設条例制定

旧艇庫の健康ステーション、旧車検場の健康フィールド完成に伴い、利用規定や使用料等を審議しました。

健康ステーション

スポーツメーカー美津濃(ミズノ)の企業提案のもと、運動器具を設置。「掴まる。走る。登る。飛ぶ」ができるパルクルエリアや、重りではなくバネの力で動かす動的ストレッチ

チエリアを完備。

町民は1回2時間で、

○一般(高校生以上)

○70歳以上

○障がい者手帳等提示者

指定エリアのみ

○小学生以上

○幼児

1000円
無料

12回数券はもつとお得になります。

町外者は別料金です。午前10時から

午後8時まで(日曜日・休日は午前

10時から午後5時まで)利用できま

す。

健康フィールド

屋外フィールドは、フットサル、ミニサッカーなど多目的に利用できます。屋内施設では、サスペンショントレーニング、自分の体重を利用したトレーニングができる施設です。町民は1回1時間の個人利用で、

○一般(高校生以上)

屋内200円・屋外300円

○小学生、70歳以上

屋内100円・屋外200円

○幼児、障がい者手帳等提示者

屋内 無料・屋外 無料

その他施設の専用利用料金も設定されています。町外者は別料金です。



健康ステーション
パルクルエリア

健康フィールド
屋外フットサルコート



② バス事業 利用者減

町内循環バスあざみ号は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休校が相次ぎ減収。

諏訪湖周のスワンバスも新型コロナウイルス感染症で通院控えと巣ごもりの影響を受けて減収となり、減収分を補助します。

③ 障がい者のやる気を応援

障がい者福祉として、訓練給付金があります。一般企業で就労が困難な方に働く場の提供や、職場での知識、能力向上のために行う事業で参加者増加に伴う増額補正です。国の補助50%、県の補助25%が受けられます。

④ 新型コロナウイルス対策を強化

アトリエシーズ、ゆらりのどか、下諏訪町社会福祉協議会、諏訪共立ヘルパーステーションへ、非接触型検温器、消毒器、消毒液等の購入補助を追加。国の補助率100%。

⑤ 温かい心を各基金へ

ふるさと納税や寄附等をこども未来基金へ342万円、特別養護老人ホーム天白の基金へ12万円積立てました。

新規事業は55件 (新規事業から、いくつか紹介します)

小中学生温泉施設利用奨励事業 260万円

小中学生に温泉の恵みを理解してもらうため入浴券を配布。中学生からの提案を事業化。



大規模改修が始まる総合文化センター

総合文化センター改修事業実施設計費 7,010万円

天井墜落防止や音響設備などの、大規模改修工事のための実施設計費。

新和田トンネル無料化PR事業 55万円

令和4年4月から無料になる新和田トンネルのPRの実施。

御柱古道改修事業 263万円

令和4年の御柱に向けた御柱古道の整備。

鰻沢周辺冠水対策調査/計画策定事業 563万円

近年の豪雨災害を受け、鰻沢周辺の冠水対策のため調査・冠水対策のための計画策定事業。

文化財概要版作成事業 68万円

町の魅力を発信するため、町の文化財を紹介する下諏訪町の文化財概要版の発行。

未来につなぐ歴史文化伝承事業 100万円

地域の組織や団体による自主的な歴史文化を伝承する活動に対する補助金。

相談支援包括化推進事業 530万円

福祉ニーズの多様化、複雑化を踏まえ、総合的な相談支援体制の構築。



改修予定の注連掛橋

橋梁改修工事など 11,300万円

- ・高木橋改良のための詳細設計 (6,000万円)
- ・上古川橋改良 (300万円)
- ・注連掛橋改良 (3,000万円)
- ・樋橋改良 (2,000万円)

令和3年度 一般会計予算

80億2000万円

前年度比2億7500万円減
全会一致で可決



旧武井医院跡ポケットパーク予定地

四ッ角駐車場ポケットパーク整備事業 1,925万円

町歩き観光の拠点となる四ッ角駐車場
ポケットパークの整備



老朽が進む北小体育館の屋根

小中学校整備事業 6,493万円

- ・北小第2体育館屋根改修 (2,522万円)
- ・下中照明設備LED化、給食室段差解消工事 (3,971万円)

観光振興事業

地域プロジェクトマネージャー導入事業 641万円

観光商品開発など観光振興に向けた地域プロジェクトマネージャーの採用

旅行商品開発事業 800万円

町歩きの促進、着地型旅行商品開発などに対する補助金

	令和3年度 万円	令和2年度 万円	増減額 万円	増減率 %	
一般会計	802,000	829,500	△27,500	△3.3	
国民健康保険特別会計	189,210	184,750	4,460	2.4	
駐車場事業特別会計	620	1,000	△380	△38.0	
後期高齢者医療特別会計	39,010	39,860	△850	△2.1	
交通災害共済事業特別会計	1,010	1,010	0	0.0	
温泉事業特別会計	32,200	35,700	△3,500	△9.8	
特別養護老人ホーム事業特別会計	24,550	24,400	150	0.6	
東山田財産区会計	130	150	△20	△13.3	
一般会計・特別会計合計	1,088,730	1,116,370	△27,640	△2.5	
水道事業会計	収益的支出	25,150	27,680	△2,530	△9.1
	資本的支出	19,990	14,890	5,100	34.3
下水道事業会計	収益的支出	59,170	59,190	△20	0.0
	資本的支出	35,350	42,740	△7,390	△17.3

Q 新和田トンネル
無料化での旧道の取扱は

A 県の管理を
強く要望する



中山 透



旧和田トンネル（下諏訪側）

Q 長和町での小中学校の
スキー教室の開催は。
A スキー場等の協力があ
り、安価で開催できれば。

Q 長和町との交流は。
A 街道を通じた交流や町
民がお互いの町を知る交流
など、観光推進事業での連
携をしていきたい。

産業振興への支援は

Q 制度資金の利用状況は。
A 設備資金より運転資金
が増加している。

Q 制度資金の改正点は。
A 臨時経営安定資金を令
和4年3月31日まで延長。

措置期間は3年以内。設備
資金、運営資金各2000

Q コロナ収束後の施策は。
A プレミアム付商品券は
財源の厳しい中では難しい。
Q コロナ禍でのリフォー
ム補助金の活用は。
A 昨年度で終了している。
現在は防災・減災対応の補
助金のみ。コロナ禍での利
用も研究していく。

児童虐待への取り組み

Q 未就園児の把握は。
A 1歳6ヶ月、3歳児健
診で把握。現状で未受診者

万まで。

はいない。

Q 児童の状況が確認でき
ない場合の対応は。
A 現状では事案はない。

要対協（※要保護児童対策
地域協議会）や各関係機関
と連携を取り、虐待、養護
相談、特定妊婦等について
支援を行う。

Q 改正児童福祉法におけ
る町の課題は。
A 課題はない。改正によ

り、要対協への資料提供、他
自治体からの情報提供など
情報共有がしやすくなった。

私たちは問いかけ提案する 一般質問



※下諏訪町議会のホームページ
から、一般質問の詳細や録画画
像の動画を見ることができます。
パソコン、スマートフォンから
いつでもご覧いただけます。



3月の定例会の一般質問は、12人が行いま
した。

8 p 中山 透

「新和田トンネル無料化での旧道の取扱は」

9 p 青木 利子

「初の予算はどんな思いで取り組んだか」

田嶋 彰

「コロナ禍での高齢者向け施策は」

10 p 増沢 昌明

「集団接種のタクシー券不公平ではないか」

岩村 清司

「将来像を描く研究プロジェクトチームは」

11 p 森 安夫

「IOT・AIによる高齢者見守りシステムを」

中村 光良

「街なかの川に清流が見える街にしたい」

12 p 松井 節夫

「生活保護の現状は」

野沢 弘子

「新型コロナワクチン 介護家族に同時接種を」

13 p 林 元夫

「国保税の値上げしないで欲しいが」

樽川 信仁

「諏訪湖博物館の現状と対策は」

14 p 大橋 和子

「二酸化炭素ゼロ政策の取り組みは」

Q コロナ禍での
高齢者向け施策は



A 「元気で長寿なまち」
を推進

田嶋 彰

Q 初の予算は
どんな思いで取り組んだか



A 今までの成果を
踏まえて編成

青木 利子

ワクチン接種の現状は

Q 町内の医療・介護従事者の人数は。

A 医療従事者が約580人、介護従事者が約290人と推計している。

Q コロナ禍で人との交流が制限される中、町の施策が必要だと思うが。

A 感染対策を行った上で、介護予防教室などの事業を再開してきた。今後も高齢者の居場所づくりを進めていく。

Q コロナワクチンの優先接種となる人数は。

A 医療従事者は県が実施。町では、65歳以上の高齢者が約7500人。16歳以上65歳未満の方が約1万人。

Q 対策室の設置の考えは。

A 町対策本部とワクチン接種連携会議で体制を整えているので、対策室の設置は考えていない。

Q 職員配置や課の連携は。

A 保健師や看護師などの専門的な人材を確保し、また、必要に応じて各課等に動員を依頼する予定。

Q 医療関係者との連携は。

A 町内医療機関の医師による検討委員会と協議を行っている。

Q 町長の新年度予算編成への思いは。

A 私が町長になって初めての予算編成。特に力を注いだ予算だが、今までの成果を踏まえ、新たな施策も着手する。まず8つの重点政策を反映。また新型コロナウイルス感染症対策の事業については定例会最終日に補正予算を追加上程し対応したい。

GIGAスクールの進捗状況

Q GIGAスクール構想の整備や購入の進捗状況は。6年生はタブレットを使用できるのか。

A 各教室において、無線でインターネットに接続できるようになっていく。端末は2月が納期、3月に入り教員向けの端末操作研修を実施。

Q 学校が休校になった時のタブレットの活用は。

A 家庭での利用はリモートでの授業、健康状態の確認、家庭学習の支援が考えられる。

観光の産業化に向け

Q 地域プロジェクトマネージャーの役割と仕事は。

A 総務省の「地域プロジェクトマネージャー制度」を活用し雇用。旅行業経験者など旅行業務に携わった経験を活かしてもらおう。

今回の組織編成で、観光事業を推進するために専門的な知識を有し、具体的には旅行業の免許を有し、30歳40歳代で若く、発想が豊かな方を雇用していきたい。なお、担う業務の一つが町観光振興局の観光推進事業で、振興局の中心的担い手になる。



を進めている。

Q 町対策本部とワクチン接種連携会議で体制を整えているので、対策室の設置は考えていない。

Q 住民への周知は。

A 郵送で個別にお知らせするほか、接種の手續きに関するコールセンターを開設し、情報発信に努める。



ワクチン接種会場となる
体育館1階入口

Q 将来像を描く研究
プロジェクトチームは

A プログラムを
作成する検討段階



岩村 清司

Q 集団接種のタクシー券
不公平ではないか

A 多くの人に接種
してもらうため



横沢 昌明

Q 「6市町村の将来像の
模索」についてどのよう
にしていくのか。研究プロジ

6市町村の将来像は

Q 全職員の能力を引き出
し、「住みたい町」「住みや
すい町」にするためには。
A 全職員が共通のレベル
で課題を捉えて、先ずSD
Gsのテーマで取り組む。
共通認識でベクトルを合わ
せ、職員の能力が最大限に
発揮でき最大の効果が出る
ように持っていきたい。

Q 接種場所まで行けない
人には医師の訪問で対応で
きないか。
A 訪問診療を受けている
方などのお宅に行ってもら

Q コロナワクチン接種会
場往復タクシー券は65歳以
上ではなく、75歳以上にし
て、自己負担をなくしたら
いい。
A 個々に対応するのは難
しい、65歳以上への感染リ
スクが高いからという意味
でワクチン接種が優先され
る。それと同じ視点でタク
シー券の補助をする。

Q 接種場所まで行けない
人には医師の訪問で対応で
きないか。
A 訪問診療を受けている
方などのお宅に行ってもら

Q 国に先駆けて35人基準
30人学級を実施してきたが
その効果は。
A 密が解消され、個別指
導がしやすくなり、授業準
備が余裕をもって出来た。

Q 学校給食は「食育」と
エクトチームの立ち上げは。
A 町の将来像をしつかり
描くことが最優先で、その
先に6市町村という枠組み
が見えてくる。

見識のある方をどの様に
公募していくかが課題で研
究検討している。

合併ありきでなく何年か
先にどんな状況が望ましい
か考える中で、広域連携や
合併という選択肢があると
思っている。あらゆる視点
から斬新な発想で町の将来
像を議論して頂きたい。

生活困窮世帯には就学
援助費で支給している。国
の動向に注目したい。

温泉移住促進等に役立
つので公衆浴場の増設を。
A 利用者減で閉鎖になっ
た浴場が複数ある。今ある
浴場の活用を。

旅館業は大変な状況に
あり、客の確保に様々な取
り組みがされている。町と
して支援する必要があると
考えるがどうか。
A 「下諏訪宿泊割り」を
昨年検討したが、コロナの
影響で中止せざるを得なか
った。新年度には実施し、
支援していきたい。

長野県・2市1町で進
められている。全体の完成
時期は、令和5年を目指す。
Q 日本一のサイクリング
ロード観光に向けて強力で
進めて頂きたい。
A 旅行商品の開発を考え
ている。観光誘客に関して
自転車で諏訪湖を周遊する
特集記事を掲載していく。

余剰温泉328口に関
して岡谷市への配湯は考え
られないか。
A 水圧低下・温度低下・
設備費用負担が多く掛かる。



全線開通が望まれる
サイクリングロード



下諏訪中学校校門から

サイクリングロード整
備事業の湖周全体計画での
位置づけと、全体の完成予
定時期は。

温泉移住促進等に役立
つので公衆浴場の増設を。
A 利用者減で閉鎖になっ
た浴場が複数ある。今ある
浴場の活用を。

水圧低下・温度低下・
設備費用負担が多く掛かる。

旅行商品の開発を考え
ている。観光誘客に関して
自転車で諏訪湖を周遊する
特集記事を掲載していく。

長野県・2市1町で進
められている。全体の完成
時期は、令和5年を目指す。
Q 日本一のサイクリング
ロード観光に向けて強力で
進めて頂きたい。
A 旅行商品の開発を考え
ている。観光誘客に関して
自転車で諏訪湖を周遊する
特集記事を掲載していく。

「下諏訪宿泊割り」を
昨年検討したが、コロナの
影響で中止せざるを得なか
った。新年度には実施し、
支援していきたい。

温泉移住促進等に役立
つので公衆浴場の増設を。
A 利用者減で閉鎖になっ
た浴場が複数ある。今ある
浴場の活用を。

旅館業は大変な状況に
あり、客の確保に様々な取
り組みがされている。町と
して支援する必要があると
考えるがどうか。
A 「下諏訪宿泊割り」を
昨年検討したが、コロナの
影響で中止せざるを得なか
った。新年度には実施し、
支援していきたい。

Q 街なかの川に清流が見える街にしたい



A 心癒される川を残したい

中村 光良

Q IOT・AIによる高齢者見守りシステムを



A 安否確認が可能であり研究したい

森 安夫

浮島春宮側の整備を

Q 砥川の浮島春宮側の景観が荒れている。子ども連れが楽しめ、観光客の心を癒せるよう整備を望むが。
A 砥川の護岸工事が最終

A 車社会の進展と、防災対策で水の見える川が減少してきた。環境面、観光面から極力残していきたい。

Q 街中で水の流れが見える河川が減ってきた。歴史ある観光の町として、対策に取り組んで欲しいが。
A 車社会の進展と、防災



整備が待たれる浮島春宮側

段階にある。医王渡橋下流の川底浚渫計画に合わせて浮島春宮側の整備を、県にお願いしている。

Q 独居者や高齢者だけの家族が増えている。「緊急通報体制等整備事業」や「緊急時駆けつけサービス事業」の活用状況は。
A 町内8737世帯中65

歳以上の独居世帯は1822世帯、高齢者のみの世帯は1454世帯で併せると38%。「緊急通報体制等整備事業」は4人、「緊急時駆けつけサービス事業」は28人が利用。他に高齢者見守りとして配食サービスを実施している。事業者が直接

ご本人にお弁当を渡すことで、高齢者の安否を確認できる。現在100人程度利用している。



Q IOTやAIの進歩で、様々な高齢者見守りサービス

スも進化している。当町も町独自の高齢者見守りの仕組みを研究されては如何か。
A 24時間安否確認が可能

特殊町民税の課税等は

Q 町民税が減収している。町内に住民登録していない方や、外国人、あるいは家屋敷課税等の特殊な町民税の課税・収納の課題は。
A H30年の空家調査で、

町外の人が所有する空き家数は93棟。事務所は84カ所、リゾートマンションは116部屋。家屋敷課税は固定資産税資料を元に対象者を調査し課税しており対象は118件で調定額64万円ほどは100%徴収できている。外国人は町内に281名

登録されており、特別徴収（給与天引）がほとんど。住民登録されないで住んでいる全貌は分からないが、50人の方が約962万円住民登録外納税をしている。

十四瀬川の景観対策は

Q 諏訪湖畔の整備が進んでいるが、十四瀬川河口部の改善が必要ではないか。
A 県に対して、新年度予算で対応して頂けるよう働きかけている。

A 浮島春宮側の整備と併せて整備をして頂けるよう県にお願いしていきたい。

Q 御手洗川の取水口が機能しておらず、地域の水路や側溝に適度の水量が確保できていないが。
A 浮島春宮側の整備と併

保育園の新年度予測は

Q 3保育園の新年度での通園希望者の状況は。
A さくら保育園146人、

みずべ保育園159人、とがわ保育園126人、合計431人で内117人が新入園児である。

Q 未満児保育の希望者が増加傾向だと心配されたが。
A 新入希望者が53人、継続希望者が44人、計97人で、計画の範囲となっており待機者は無い。

**Q 新型コロナワクチン
介護家族に同時接種を**

A 付き添いの
家族は対象外



野沢 弘子

Q 生活保護の現状は

A 年度当初より
9件減少



松井 節夫

Q 土日の集団接種の混雑
に対応する事前の訓練は。
A 多くの住民に安全に短
時間で接種してもらうため、
事前にシミュレーションし
て当日の流れを確認。
Q 町図書館にコロナ対策
で、本の除菌機の設置を。
A 除菌機の効果や職員の
負担軽減にどの程度効果が
あるか研究する。
Q コロナ禍で感染防止対
策をとると、想定5割か
ら7割の人員しか収容でき
ない。町全体の避難所は足

Q 親族への扶養照会がい
やで、生活保護を申請しな
い人も多いと聞く。
A 国会の質問で、扶養照会
は義務ではないという答弁
であったが。
A 親族との関係を聞いて
同意を得た上で問いあわせ
ている。
Q 国保税の軽減措置を受
けている割合は。
A 平成30年53・8%。令
和元年54・1%。令和2年
54・3%。
Q 半数以上が軽減措置な

Q 町指定避難所45ヶ所
その他旅館、自動車協会等
民間と協定を結び対応中。
Q コロナ禍で、不安を抱
える妊婦・出産子育てをし
ている町民に、昨年4月28
日以降の出生児に、下諏訪
町の10万円の商品券の支給
を切望する。町事業者への
支援にもなる。
A 出産祝い金等で対応し
ている。

Q 基金の活用も含め国保
運営協議会に諮っていく。
Q コロナ禍で介護保険料
の値上げは避けるべき。
A 広域の介護保険委員会
は月額1000円の値上げの
結論。町はそれを尊重する。
Q 消防団員はポンプ操法
などやることが多い。負担
軽減をすべきでは。
A 意見を聞いて負担増を
避けていく。ポンプ操法訓
練は基礎訓練として必要。

ふるさと納税の現況は



ふるさと納税紹介ページ

Q 前年より寄附金が増え
ている要因は。近隣と協定
し返納品を豊富に。
A 寄附金増加の要因は、
りんご・オルゴールの種類
増と、御湖鶴の飲み比べセ

Q 高齢者の見守り
の協定も研究する。
Q 1人暮らしの高齢者な
どの孤独死を防止するため
に見守り電球の設置を。
A 研究していく。
エレベーター設置を
Q 総合文化センターのエ
レベーターが奥で、物の搬
入などに苦勞している。
A 利便向上にカーットの設
置を検討する。

職員の働き方



R1年のポンプ操法大会

Q 職員の現状は。
A 正規職員は223人。
会計年度任用職員は215
人。
Q 雇用は正規職員があた
りまえと思うが、会計年度
任用職員の正規職員化は。
A 5年で8人が採用試験
を受けて正規職員になった。
Q ジェンダー平等を推進
するべきだが。
A 男女共同参画セミナー
等の各種事業を行っている。
Q 女性課長を増やす考え
は。
A 性差なく能力による登
用をしている。

**Q 諏訪湖博物館の
現状と対策は**



樽川 信仁

A 稼ぐ観光実現のため
資源化に取り組む

**Q 国保税の値上げ
しないで欲しいが**



林 元夫

A 県の方針に従い
徐々に値上げも検討

- Q** 入場者数及び入場収入の推移は。
- A** 一年間で1755人の減、また年間1263万円の赤字の収支になった。
- Q** 展示品・収蔵品のおよその数及び展示予定は。
- A** 24000件の収蔵品があり、今年度より産業振興課への移管により、観光資源の一つとして位置付け、町が取り組む「稼ぐ観光の実現」に向けた誘客策として活用する。
- Q** 新しい発想で利用者数



これぞお宝収蔵品！

- Q** 国保会計について、国保運営協議会が開催され、値上げの税率改定が計画されている。各自治体に裁量権があり、加入者を守っていかなければいけない。繰入額の限度額をリミット30%として法定外繰り入れを。
- A** 法定外繰り入れは県の方針ではない。
- Q** コロナ禍での国保税の徴収状況も良くない。非正規社員、個人事業主や年金生活者が加入する国保なの

- で、今年の国保税の改定は、傷口に塩を塗る行為だ。値上げを見送る自治体も多い。政治判断が必要だが。
- A** 県の方針ロードマップに従うには、徐々に値上げする他ない。
- 文化センター改修15億円か**
- Q** 公共施設等総合管理計画では、文化センター改修費は総額約15億円。なぜこんなに高額か。
- A** ホールという特殊な建物で、改修内容が多岐にわ

- を増やす方策はないか。
- A** 観光振興局を中心に地域プロジェクトマネージャーの加入もあり、バックヤードを会場に学芸員の案内による収蔵品の見学などを考えている。
- 商店への販売促進支援**
- Q** 町内小規模商店の現状をどう捉えているか。
- A** 昨年に引き続き、大変厳しい経営状況であるとの認識はしており、努力工夫をして頑張っていることも認識している。
- Q** プレミアム付商品券販売後の施策はあるか。
- A** 産業振興課、商工会議所と連携して次なる事業への展開を考えている。
- Q** 後継者の斡旋や事業継

- たっており、初めの計画より大規模になった。
- Q** 行財政経営プランと突き合わせると、税収は年々減少し、令和7年度では3年度より約1億円減少。地方債残高は、令和5年で約107億円となる。公債費を上回る。このことは公債費比率が10%を超えることを意味しており、経常収支比率の上昇を招き、町財政の硬直化が顕著になる。文化センター改修も財政の重

- 荷になると思うが。
- A** 地方債は国の交付税措置があるものが多い。資産価値の維持向上を計る等優先順を決めて計画的に運営していきたい。
- 続のための考えは。
- A** 長野県では4月1日より、ワンストップ支援サービスを開始する。行政サービスの充実を図る。
- 観光消費拡大の施策**
- Q** わが町にとって観光消費の誘客素材はなんだと考えるか。
- A** 秋宮前を観光拠点として四ツ角駐車場、友之町駐車場までの歩く観光をより一層充実させ、賑わいのあ



改修予定の文化センター

議会掲示板

ここでは、議会が行った活動を掲載します。

商工会議所との懇談会を実施 1月26日 庁舎内にて



商工会議所が町に提出した要望書の内容の中で、次の2点について、深堀りしました。

①新型コロナウイルス感染症に関わる地域経済対策

商工会議所が町に昨年末実施したコロナに関わるアンケート結果を説明いただき、地域の実態を共有したうえで、以下の重点要望を確認

- ・製造業における雇用維持は、今後の事業継続を進める上では不可欠。そのための、町単独の雇用維持奨励金等による支援
- ・飲食店等を対象としたテイクアウト事業の再開や、来年度以降のプレミアム付商品券再発行含めた地域消費拡大対策
- ・廃業・倒産回避に向けた一層の企業支援強化体制の整備と、支援策の充実
- ・ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた地方創生の取り組み
- ・移住・リモートワーク等関連人口の受け入れ強化のための、誘致やインフラ整備の推進

②産業振興・地域産業活性化に向けた要望

- ・観光に携わる組織の一元化
- ・旧荻原製作所跡地利活用、イオンの早期建設促進、ビジネスホテルを含む宿泊施設誘致など

議会として、懇談内容を真摯に受け止め、可能な取り組みを検討していくことを確認しました。

Q 二酸化炭素ゼロ政策の取り組みは

A 地域脱炭素の国の計画を注視



大橋 和子

Q 省エネ支援補助金は、県には6つの事業があり、県のホームページや申請窓口を紹介するなどPRしていく。
Q CO₂排出ゼロ宣言は令和3年2月26日の調査では1億人以上に達し、下諏訪も宣言に近づけるよう施策の組み立てを。
A 諏訪地方では表明している市町村はない。
Q GIGAスクール構想の実現は。
A ICTを基盤としたG

諏訪湖博物館活用を

A IGAスクールでは生徒一人一台のタブレットを使い革新的な教育の扉を開け誰一人取り残す事の無い、世界の問題を身近な事と考え質の高い教育を持続させる。
Q 障害の有無関係なくともに生徒一人一人に合った学びの場が提供されるインクルーシブ教育をどの様に実践していくか。
A 社会参加と自立ができる環境整備に努める。
Q 諏訪湖博物館の観光としての役割をどのように捉えるか。
A 歴史、文化を通じて郷土愛の醸成につなげ、さらに観光客に地域文化を知っていたくため、下諏訪町の魅力を紹介する。
Q 郷土の著名な大和作内さんや小沢重武さんが制作された彫刻をブロンズ化し、諏訪湖畔に設置することは。
A 諏訪湖畔にブロンズを設置することは、維持管理など、現時点では難しい。

※GIGAとは誰もが国際舞台と革新的創造の為の教育の扉を開けられる学び舎にしようという意味で、グローバル アンド イノベーション ゲートウェイ略



諏訪湖博物館の収蔵品

“町議はこんな議会にも参加しています”

諏訪広域連合議会 介護保険料 月100円値上げ

諏訪広域連合で行う業務は、広域的な事業や市町村が単独で行うことが難しい事業で、広域消防、介護保険、救護施設八ヶ岳寮等の運営が行われています。連合議会は諏訪圏域の6市町村からの議員22名で構成されています。下諏訪町議会からは金井敬子議長、森安夫副議長、青木利子議員の3名が議員選出されています。令和3年度の予算は一般会計が3億7600万円。特別会計として「諏訪広域消防特別会計」25億3800万円、「介護保険特別会計」197億9800万円、「救護八ヶ岳寮特別会計」3億9800万円、「諏訪地域ふるさと振興基金事業特別会計」1700万円です。一般会計特別会計の合計は231億2700万円です。



八ヶ岳寮の文化祭



諏訪広域消防本部

今年度で第7期介護保険事業計画が終了することから、第8期（令和3年～5年）介護保険事業計画が策定されました。ますます高齢化する社会を迎える2025年・2040年を見据えて、地域ごとの推計人口から導かれる介護需要等を踏まえての計画となっています。

65歳以上の1号被保険者の介護保険料基準額を現行より100円値上げし、月額5450円とする料金改定がなされました。保険料改定は、高齢化や後期高齢者の増加に伴う介護サービス利用量が増え、介護給付金の増加を背景に来期第9期以降を見据えてのもです。

窓口議員 森 安夫

湖北行政事務組合議会

“湖風苑”利用者に 影響ないように 改修工事を予定

湖北行政事務組合は、岡谷市・下諏訪町・辰野町の3市町で構成され、湖北衛生センターと湖北火葬場「湖風苑」を運営しています。議会には、金井敬子議長をはじめ森安夫、中山透、樽川信仁議員の4名が議員選出されています。

来年度予算は、事務一般会計848万円、湖北衛生センター事業特別会計8332万2000円、湖北火葬場特別会計1億3742万4000円で、全会一致で可決されました。



湖風苑（湖北火葬場）



湖北衛生センター

質疑では、衛生センターでは、汚泥処理により発生するガスを活用して、発電は行わないのかに対して、有効ガスの発生量が少なく、発電には活用できないとのことでした。また、「湖風苑」も稼働から11年経過しており、火葬炉のセラミックファイバー貼替、耐火台車上部交換工事（1～4号炉）、制御盤シーケンサーバッテリー交換、動力盤インバータ交換、エントランス等の照明設備交換工事が予定されており、利用者に影響が出ないように配慮しながら、行うとのことでした。討論では、施設、設備の適切な維持管理と、利用者へのサービス向上に努め安定した火葬場運営を期待するとの賛成討論がありました。

窓口議員 中山 透

好きです しもすわ

「交番の存在」



下諏訪町交番所長

柳沢 裕三

下諏訪町交番に着任してから3年が経過しました。これまで県内各地を転勤で渡り歩き、それぞれの場所で地域性・人柄などを肌で感じてきたのですが、下諏訪の方は「交番を大切に

てくれている」というのが率直な感想です。それは、諸先輩達がこれまで築いてきてくれた伝統ではあるのですが、何よりも下諏訪の方々が優しく温かく、また、誰でも、何でも受け入れてくれる人柄ということが最大の要因であり、町にたった一つの交番として、これまで大切にしてもらってきたのだと思っています。

現在では、以前はできていた行政手続が交番で行えなかったり、警察官が出動中で交番が留守だったり皆様には何かとご不便をお掛けしています。私をはじめ、交番勤務員一同『下諏訪が大好き』です。

大好きな町で仕事ができることに感謝し、より一層治安維持に努めて参りますので、皆様には今後も変わることなく当交番を可愛がってもらえたら幸いです。
(令和3年3月在任)

議長のつぶやき

新年度 開始によせて



議長 金井 敬子

毎年私たち議員は、町内小・中学校の卒業式・入学式に参加させていただきますが、二年続けて新型コロナウイルスの影響で参加が叶いませんでした。子ども達の巣立ちの場面に立ち会うことができず、とても残念でした。昨年度は、コロナ禍において、様々な場面で子ども達も我慢を強いられたことでしょう。保護者、先生方はじめ関係者の皆様のご苦労も大変なものだったと思います。その困難を乗り越えて行われた心温まる式の様子や逞しく成長した児童・生徒のことを、参加された方々や報道から知り感激しました。

卒業式前に開催された北小創立50周年記念式典に参加させていただきましたが、

編集後記

令和元年5月に新議会になり編集委員会が決まりました。昨年町長選挙に関連して委員長が交替しました。議会の申し合わせで議長人事や所属委員会は2年で交代(再任は妨げない)なので、5月に所属変更があります。したがって、今回の編集が一応

最後の編集になります。2年間8回の「議会だより」編集に関わって大変勉強になりました。
(M・S)

- 委員長 森 安夫
- 副委員長 松井節夫
- 委員 中村光良
- 委員 樽川信仁
- 委員 林 元夫
- 委員 大橋和子



北小創立50周年記念式典
全員での合唱